

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【131】

2. 日時：令和4年3月31日 10時00分～11時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

義崎管理官補佐、藤田審査チーム員

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他8名※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 課長代理※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	こちら規制庁フジタですそれでは島根に設工認のヒアリングを開始しますので、中国電力、説明、よろしく願いいたします。
0:00:14	はい。中国電力のカネオリです。それでは本日のヒアリング、脆性破壊防止の説明書のコメント回答についてご説明をさせていただきます。
0:00:23	資料としましては、本日四つございまして、
0:00:27	まず、
0:00:29	寝ずに、
0:00:30	一他-080の、
0:00:33	指摘事項に対する回答整理表。
0:00:36	二つ目は、N-S2-添1-042回、01の説明書
0:00:42	で三つ目がNGにあー、1-042π01括弧比の比較表、最後に、NS2-方。
0:00:52	-0006801の補足説明資料になってございます。
0:00:57	資料の方はよろしかったでしょうか。
0:01:00	規制庁トレース試料そろってますのでご説明よろしく願いいたします。
0:01:07	はい。中国電力のカネオリです。
0:01:10	それでは指摘事項に対する回答整理表、
0:01:15	を用いてご説明をいたします。
0:01:19	まずナンバー1から順番にご説明をいたします。
0:01:24	まずナンバー1についてです。
0:01:26	こちらコメント内容としましては、先行プラントとの、
0:01:30	中性子照射量の相違について、炉心形状がどのように相違するため、中性子照射量に影響するのかを説明すること。
0:01:37	あと円筒胴34の溶接の施工方法について、具体的に説明すること、また破壊靱性評価箇所の中での、
0:01:46	点線実線の意味を記載することというコメントをいただいております。
0:01:50	回答ですけれども、全厚プラントと中性子照射量の相違という備考欄に追記をいたしました。
0:01:56	こちら比較や比較表の方でご説明をいたします。比較表の
0:02:01	9ページをお願いいたします。
0:02:12	こちらの備考欄の方、着色してございますけれども、こちら、
0:02:17	読み上げますと、
0:02:18	島根2号キーは、燃料本数は少ないが炉心と、
0:02:24	原子炉圧力容器内表面との距離が近いため、中性子照射量が多いという記載に修正をしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:34	続きまして
0:02:36	円筒度三、四の溶接の施工方法についてですけれども、こちらの補足説明資料の、
0:02:43	参考資料 8、
0:02:46	を作成してございます。ページで言いますと、
0:02:51	31 ページ。
0:02:52	お願いいたします。
0:03:03	こちらEnd3 と 4 の溶接部の人生についてという資料を作成してございます。
0:03:08	こちら円筒度 3 と 4 の溶接部については、あらかじめ、
0:03:13	母材と同等以上の靱性を有していることを確認した溶接方法に従いまして、適切な力を有した溶接性を養成することで、
0:03:23	母材と同等以上の靱性を有していることを確認。
0:03:26	しております。
0:03:28	加えまして、遠藤さんと 4 の溶接と同時に作成した試験日について、衝撃試験により、溶接部の人生を確認してございます。
0:03:37	1 ポツ以降詳細を記載してございまして、
0:03:41	まず 1 ポツ、
0:03:42	溶接部の確認についてですけれども、
0:03:45	円筒と 3 と 4 の溶接部については、
0:03:50	電気事業法に従いまして溶接検査を受けましてこれに合格をしております。
0:03:55	この溶接検査の合格基準については二つございまして、
0:04:00	一つ目のポツですけれども、
0:04:02	こちらの溶接の方法を、
0:04:05	について、こちらの溶接施工法と、溶接士のことですけれどもこちらの、こちらについてあらかじめ、
0:04:12	認可を受けた方法に従って行われていること。
0:04:15	二つ目の合格基準としましては、通商産業省令で定める留置基準に適合していること。
0:04:23	になっております。
0:04:25	一つ目のポツにつきましては、2 ポツ、
0:04:28	2 ポツ通行の方で、詳細はさらに詳細に記載をしております。
0:04:33	二つ目のポツにつきましては、
0:04:35	次のページの 3 ポツ、
0:04:38	項で詳細を記載してございます。
0:04:41	まず 2 ポツ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:43	溶接の方法の認可についてですけれども、
0:04:47	溶接施工法と溶接士と、大きく分けて二つ。
0:04:51	要素がございまして、まず、2 ポツ 1 の溶接施工法につきましては、
0:04:59	溶接の方法認可に従いましてを、
0:05:04	機械試験や機械試験等を実施しまして認可を受けております。
0:05:08	溶接遠藤の 3 と 4 の溶接部に適用しました施工方法について記載試験を実施しております、
0:05:17	靱性を含む機械的強度が母材と同等であることを確認してございます。
0:05:23	一方で 2 ポツ 2 の溶接士の方ですけれども、こちらも
0:05:29	通達に従いまして、
0:05:33	放射線透過試験とか曲げ試験を実施しまして溶接士の認可を受けてございます。
0:05:40	32 ページをお願いいたします。
0:05:45	こちらは二つ目の合格基準についてですけれども、
0:05:50	遠藤さんと 4-4 設備につきましては、この症例 81 号で定める技術基準に適合することを確認してございまして、
0:05:59	次、溶接と同時に作成しました試験日について
0:06:03	以下の機械試験を実施しまして、靱性を含む機械的強度が、
0:06:08	母材と同等であることを確認してございます。
0:06:13	溶接の施工方法についてのご説明は以上になります。
0:06:18	続きまして藤。
0:06:22	比較表の方の、17 ページをお願いいたします。
0:06:37	こちらの図の 6-1 で破壊靱性評価箇所の図がございまして、
0:06:42	こちらの図中の点線と実線の意味を、
0:06:47	記載することというコメントを受けておりまして、点線については溶接線ということ、
0:06:55	この図の左下の方に記載を、
0:06:58	してございます。
0:07:00	で、実践についてなんですけれども、もともとの図では、
0:07:06	この、この図の上の、
0:07:09	方の中神と、
0:07:11	宇和鏡市とは鏡。
0:07:13	2 の間の線。
0:07:15	と。
0:07:16	あとは鏡新居と宇和バタフランジの間の線。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:20	があると思うんですけども、
0:07:21	こちらがもともと実線だったんですけども、溶接線でしたので、実線のほうから点線に、
0:07:30	修正をしております。
0:07:32	ですので実線としましては、ウダハタフランジと胴体フランジの間の線だけが実線に、
0:07:41	なっております、こちらはフランジ接触面になりますので、
0:07:45	こちらは明白、明確、明らかなと思っ
0:07:50	てますので特に判例等は記載はしてない。
0:07:54	状況になっております。
0:07:57	ナンバー1の回答については以上になります。
0:08:01	続きまして回答整理表のナンバー
0:08:04	2についてご説明をいたします。
0:08:09	コメント内容としましては、中性子照射脆化を考慮した破壊靱性の、
0:08:14	評価部位の代表性について、その他の部位の中性子照射量も示し、説明すること。
0:08:21	回答ですけれども、
0:08:24	円筒度3と4以外の部位のうち、最も
0:08:28	個人に近く、中性子照射量が多い部位であります低圧注水ノズルN6のずれがあるんですけども、もうこちらの中性子照射量を示しまして、
0:08:37	円筒度34と、5倍以上の差があることを、地域をしております。
0:08:43	具体的な追加箇所としましては、
0:08:45	比較表で言いますと、
0:08:48	9ページをお願いいたします。
0:08:58	こちら本文の方に、先ほどご説明しました
0:09:03	ことを記載してまして、
0:09:05	円筒度3と4の中性子照射量2.8ヶ月10-18条ですけれども、それ以外の部位、低圧注水ノズルについては5掛け10の17乗程度以下でございますので、
0:09:20	円筒胴3と4。
0:09:23	とそれ以外の部位では5倍以上。
0:09:25	の照射量の差がございますので、エンドさん要員について評価を実施するといった説明にしております。
0:09:36	ナンバー2のご説明は以上になります。
0:09:39	続きまして、サイトウセイキonナンバー3についてご説明をいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:46	内容としましては、中性子照射による関連温度の移行量等の算出過程について、具体的に、
0:09:54	説明すること。
0:09:57	回答としましては、補足説明資料の、
0:10:00	4 ポツ 2 行にその算出過程を具体的に追記しております。
0:10:05	補足説明資料の 11 ページをお願いいたします。
0:10:22	こちらの着色で算出過程を具体的に、追記しております。
0:10:28	算出方法につきましては尺 4201 の 2007、2013 年追補版、
0:10:35	の附属書Bによって算出しております。
0:10:39	関連温度の移行量 $\Delta RTNDT$
0:10:43	ですけれどもこちらは附属書B。
0:10:46	2100 番に基づきましてABWRの場合は、
0:10:50	附属書附属書表。
0:10:53	Bの 2102 を用いて、算出をさせていただきます。
0:10:59	$\Delta RTNDT$ の算出に用いるパラメータにつきましては、下の方の表の、
0:11:04	4-2 に示しております。
0:11:08	まず(1)ですけれども、
0:11:11	評価に用いる中性束の $\phi C$ 飛んできますけれどもこちらは $1.64 \times 10^{-10}$ 、 $10^{-9}$ 乗。
0:11:19	2、最も違い。
0:11:21	中性束。
0:11:23	$\Phi \Phi B$ 。
0:11:24	と定義しますけれどもこちらを、
0:11:27	表、こちらの表、
0:11:29	附属書表。
0:11:32	B2100 人の中から選定を、
0:11:35	します。
0:11:36	具体的な値としましては $\Phi A$ が $1 \times 10^{-9}$ 乗、IB が 2 掛け $10^{-9}$ 乗となりますので、
0:11:44	具体的に言いますと附属証憑B2102 の、
0:11:49	14 分の 6、
0:11:52	14 分の 7 が該当。
0:11:55	します。
0:11:58	(2)ですけれども、こちらの表、それぞれに対しまして、
0:12:03	表は 4-1。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:05	に示します
0:12:07	どうやいってる。
0:12:10	あと、FPIはに対する、 $\Delta RTNDT$ 計算値 1 と 2 をそれぞれの算出をします。
0:12:18	こちら値は記載の通りでございます。
0:12:22	(3)としましてそのそれぞれ求めた $\Delta RTNDT$ 計算値 12 を、さらにタイト保管で、
0:12:33	中性束ΦCに対する $\Delta RTNDT$ 計算値を算出をします。
0:12:39	そうすると $\Delta t$ 日計算値は 4.3 度というふうな値が求まります。
0:12:45	最後(4)としまして、マージンが 22 度でございますのでそれを加えまして、最終的な $\Delta RTNDT$ を 26.3 度というふうに算出を、
0:12:56	してございます。
0:13:00	ナンバー3 の回答は以上になります。
0:13:04	続きましてナンバー4 についてご説明をいたします。
0:13:10	コメント内容としましては監視試験編取付時について、先行プラントの記載を踏まえた上で詳細に記載すること。
0:13:19	回答としましては、先行プラントの規制状況を踏まえまして取引取付図について修正をしております。
0:13:27	比較表の
0:13:29	27 ページをお願いいたします。
0:13:39	あとこちらももとの図は、上に、
0:13:45	上から見た図、断面を示してますけれども、こちら、今よつつう安全試験はあるんですけども、ももとの図はこの左下の、
0:13:56	加速照射試験編が記載されておりました。
0:14:00	ですので今回先行プラントさんの
0:14:04	被災状況踏まえまして、
0:14:06	この加速照射試験編を追記をしております。
0:14:10	あわせまして下の、
0:14:13	断面図につきましても修正をしております。
0:14:20	ナンバー4 の回答は以上になります。
0:14:23	続きましてナンバー5 の回答についてご説明をいたします。
0:14:29	コメント内容としましては、脆性破壊防止に関する、
0:14:33	評価対象及び評価方法の選定についてはフローズ。
0:14:38	を用いること等により 1000 という仮定を、
0:14:40	説明すること。
0:14:43	回答については補足説明資料の方でご説明をいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:47	ページで言いますと、
0:14:49	補足説明資料の、
0:14:51	1 ページ。
0:14:52	お願いいたします。
0:15:01	下の方にポツ
0:15:04	とあるんですけどもこちらのもとも評価対象という、
0:15:09	項目しかなかったんですけどもそこに評価方法という項目を追加しております。
0:15:16	2 ポツ 1 はもともと記載をしておりましたところになってまして、
0:15:22	こちらまず評価対象。
0:15:24	となる材料について抽出をさせていただきます。
0:15:28	中止の方法ですけれども、
0:15:30	雑名のPVB2311 に、
0:15:37	破壊靱性試験不要となる材料の規定がございますので、もうこちらの規定、
0:15:42	に当てはまるものは、
0:15:44	評価対象外というふうなことになります。
0:15:48	それを整理したものが、
0:15:50	次のページ。
0:15:52	2 ページ目の表 2-1。
0:15:55	でございます。
0:15:59	こちらの評価対象を記載をしまして、
0:16:04	先ほどの下、①から⑥に当てはまるものは、
0:16:10	評価対象 ×
0:16:13	をしまして
0:16:15	その理由を、一番右の、
0:16:17	列にその番号を記載しております。
0:16:26	さらにシュベⅡとしまして、今ようけ材料か、V材かっていうところも、今回追記をしております。
0:16:37	3 ページ目の方も同様にですねのズルー関係になりますけれどもこちらの方も、
0:16:43	同様に整理をしております。
0:16:47	こちらの中で 0 と、評価対象が 0 となった。
0:16:54	ものについて、どのような評価方法でやるかっていうのが、
0:17:00	次のページの 4 ページ目ですね、4 ページ目の、
0:17:04	2 ポツ 2 行で

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:06	整理をしております。
0:17:11	こちらのフロー図を作成しております、まず、
0:17:16	評価対象。
0:17:18	と言ってますのが先ほどの表の 2-1 の方で、種別を追加してるんですけども容器材料がV材かっているところ。
0:17:29	関係してきますので、
0:17:32	そこをついまずスタート地点になってますんで、
0:17:37	一つ目のひし形ですけども、
0:17:41	まず容器材料がボルト材価で分かります。
0:17:44	ボルト材については、
0:17:47	右の方に行くんですけども、こちらの、
0:17:50	9-4 に⑥のF-V2400 番に従いまして最低使用温度を基準とする評価を行います。
0:17:58	具体的な評価対象としましてはスタッドボルトと、
0:18:02	平地フランジのボルトが対象になってきます。
0:18:06	容器材料の場合は下のひし形に、
0:18:09	行きまして、
0:18:11	こちら以下のいずれかに該当するかどうかということが判断基準になってます。
0:18:18	と今回これに該当する機器はありませんので右に行く。
0:18:23	材料はございません。
0:18:25	すべて該当しないにいきまして、
0:18:29	最後の三つ目のひし形ですけども、
0:18:32	炉心領域材料かどうかというんで、分かれてきます。炉心領域材の場合は、
0:18:38	約 4 人⑥-FB2100 の(2)とF-V2200 に従いまして、
0:18:44	関連温度を基準とする評価と、上部棚吸収エネルギーを基準とする評価を行います。
0:18:50	具体的な評価対象としましては円筒度 34 になります。
0:18:54	一方で炉心領域外の材料の場合は、
0:18:57	評価方法としましては関連温度を基準とする評価になっております。評価対象はご覧の通りになっております。
0:19:06	ナンバー
0:19:07	5 の回答については以上になります。
0:19:12	続きまして的事項回答整理表のNo.6 についてご説明をいたします。
0:19:20	こちらは補足説明資料の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:24	33 ページをお願いいたします。
0:19:33	コメント内容としましては、冷水を注水するノズルには、サーマルスリーブを設けられている泊SEが直接、
0:19:41	平均に接することのない、の説明で有賀とサマースリーブの構造元について図示して説明すること。
0:19:48	回答ですけれども、こちらに図 1 として、サマースリーブの構造、
0:19:54	をつけております。
0:19:56	で、
0:19:58	このずれがありまして、真ん中、
0:20:01	青の矢印で示してますけれどもこちらが冷水が通るところになってございます。
0:20:07	で、のずれは、原子炉圧力容器に要請されてる、されてますけれども、
0:20:13	このずれの
0:20:16	中に、将サーマルスリーブというところがございます。
0:20:21	で、
0:20:22	真ん中を冷水がおるんですけれども、このサーマルスリーブがあることによって、のズルー。
0:20:31	間違えましたノズルと、
0:20:33	サーマルスリーブの間には、炉水
0:20:36	の中の水が入り込んでますので、
0:20:40	この真ん中の、
0:20:42	矢印の通り冷水が通ったとしましても、このずれの
0:20:47	ズルーとか圧力容器の日置の方には、直接この流水が接触しないと。
0:20:54	いった構造になっております。
0:20:58	イメージ図は二重管のような構造になっているといったものでございます。
0:21:05	No.6 の回答については以上になります。
0:21:09	続きまして適正化箇所がございますのでそちらについてご説明をさせていただきます。
0:21:16	回答整理表の段、3 ページ目をお願いいたします。
0:21:25	まずナンバー1 ですけれども、
0:21:28	こちら比較表の
0:21:30	5 ページになります。
0:21:42	備考欄の方ですけれども、
0:21:48	評価、脆化予測法が改訂されたため、評価結果を今後説明するといった記載をしてたんですけれども、その脆化予測法が、
0:21:59	をどう改定されるのかっていうのを記載を追記しておりまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:03	その税家族方がいろんな知見を踏まえましてより高精度になったため、改めて評価結果を今回この説明書で説明していると。
0:22:13	いったところ、
0:22:15	に修正をしております。
0:22:19	続きましてナンバー2の的適正化箇所についてです。
0:22:24	比較表の7ページをお願いいたします。
0:22:36	衛藤さんの比較表の6ページ目の方、6ページの方で、
0:22:41	今回第2との相違箇所がございまして、
0:22:45	当間管理項目の一番下の方ですね一番下のところ、管理項目の総意として、
0:22:51	東海第2温度へん。
0:22:53	率っていうのを記載をしておりますけれども、
0:22:57	こちらのしまいに5キーの場合ですと、
0:23:03	この温度変化率、備考欄の方に書いてますけれども温度変化率っていうのが熱サイクル。
0:23:10	色の観点での管理項目になってますので、島2号機の場合は最低温度により、
0:23:16	脆性破壊防止に対する管理を実施をしております。
0:23:24	続きましてナンバー3についてご説明をいたします。
0:23:28	比較表の
0:23:30	3ページをお願いいたします。
0:23:42	失礼しました。比較表で言いますと、
0:23:44	8ページになります。
0:23:55	あと真ん中の方へとしたがってというところがございます。こちらの、
0:24:00	供用状態ABCDで、どういう評価をするかっていうところを記載してるんですけども、
0:24:09	従ってのところLowerの供用状態ABの話をしてまして、
0:24:14	真ん中の方書いてますけども、供用状態ABについては耐圧漏えい試験での評価で代表するという記載をしております。
0:24:23	その次のパラグラフで、供用状態CDの
0:24:27	話をしてるんですけども、こちらはもともと、
0:24:32	供用状態CD。
0:24:35	についてもその耐圧漏えい試験時に対する評価で代表されると書いてたんですけども、
0:24:42	弱の方にはですね供用状態CDはABで代表すると言った記載。
0:24:49	もございますのでその繋がりがわかるように、今回、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:53	影響状態CD。
0:24:55	においては脆性破壊に対して厳しくなる事象はなく、
0:24:59	影響状態。
0:25:01	Bの評価と同様に、大豆漏えい試験に対する評価で代表されると。
0:25:07	いった記載を追記してまして、記載の充実を図っております。
0:25:13	続きましてナンバー4についてご説明をいたします。
0:25:20	こちら比較表。
0:25:22	言いますと、
0:25:24	目標の15ページをお願いいたします。
0:25:35	こちら出たユース上部棚吸収エネルギーの計算の式になりますけれども、
0:25:42	係数としましてCEOと、
0:25:46	あとCFいう
0:25:48	FF言うっていうのがあるんですけども、
0:25:53	この三つのパラメータのうち、し、
0:25:55	下の二つですねcfUとFFについては、
0:26:00	化学成分による係数とかですね中性子照射量に係数と。
0:26:04	言ったどんなケースかっていうのを記載をしておりました。
0:26:09	一番上の治療だけ新たにケースと書いてたんですけども、
0:26:14	その
0:26:15	意味、意味合いといえますか、その
0:26:19	意味合いを今回追記をしてまして、一番上のケースについてはこちらの定数という、いう記載を追記をしています。
0:26:29	下のcfUとかFAにつきましては、
0:26:34	その形図の中に、その化学成分のパラメータとかが入ってますので、そういうふうな記載をしてたんですけども、
0:26:43	一番上のCCOだけはそういうパラメータもなくてですね、ただ単に訂正なので、括弧書きで定数と、
0:26:51	言った記載を追記をしております。
0:26:56	続きましてナンバー5についてのご説明をいたします。
0:27:03	比較表で言いますと、
0:27:05	17ページをお願いいたします。
0:27:16	こちらの図61の中に、
0:27:19	左上の方にですね、N18っていうのがあるんですけども、こちらが予備ノズルになってまして、その予備のずれの
0:27:29	用途を備考欄の方に、追記をしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:34	括弧書きで追記をしまして、
0:27:37	用途としましては、
0:27:40	窓のない構造部IIが、その運転中の
0:27:47	冷却水の流動に伴う振動に対しまして、健全性を維持されることを確認するために、振動測定というのを実施するんですけども、その振動測定用の計測装置を、
0:27:59	炉内に挿入するために、この予備ノズルを設置。
0:28:04	したものにになりますけれども、
0:28:06	先行プラントの実績を踏まえまして、
0:28:09	この当該振動測定というのが、実施不要と判断しましたので、読み予備ノズルの使用実績はありません。
0:28:24	ナンバー5については以上になります。続きましてナンバー6についてご説明をいたします。
0:28:31	こちら、比較表の、
0:28:35	21 ページお願いいたします。
0:28:42	こちら表の 6-1、最低使用温度の値を書いております、こちらのマスキングをいたしましたけれども、マスキング不要ということを確認しておりますのでマスキングを外しております。
0:28:58	続いてナンバー7についてご説明をいたします。
0:29:07	当然比較表の、23 ページ。
0:29:10	お願いいたします。
0:29:18	こちら表の 7-3 で、
0:29:21	各評価箇所の関連温度の要求値を記載してありますが、そのうち、円筒胴 3 と 4。
0:29:30	については注記で書いてありますが、中性子照射による関連温度の移行量を含めた値としております。
0:29:38	今その計算の過程を備考欄の方に、
0:29:41	記載をしまして、
0:29:44	当園藤堂 3 と 4 につきましては、その応力拡大係数により、本村関連温度の要求値、
0:29:52	32.7 度というのがあります、それに、
0:29:56	中性子照射による関連温度移行量 26.3 を低くしまして、6.4 度といった値を、
0:30:04	を算出しております。
0:30:11	No.8 については、補足説明資料の目次の修正、
0:30:16	目次の項目とページ番号の修正になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:20	No.9 についてですけれども、
0:30:23	東北説明資料の 1 ページをお願いいたします。
0:30:37	1 ポツ概要のところ、中性子照射税ガ-の評価方法に関する記載の充実を図っております。
0:30:46	で、図の 1-1。
0:30:48	2、中性子照射脆化の模式図。
0:30:51	を示しております。
0:30:53	で、ちょっと文章の方を待つ。
0:30:56	読み上げますけれども、炭素行とかのフェライト系材料については中性子照射により、硬さが増加しまして靱性が低下します。この現象を中性子照射脆化と呼んでますけれども、
0:31:09	原子炉圧力要件においては特に
0:31:12	円筒部分炉心の一部でも長所量が多いので、
0:31:17	その照射脆化の度合いについては、このジャックに基づきまして、
0:31:22	低温側は、
0:31:24	関連温度イコールパラメーターで今期は、上部棚吸収エネルギー減少率というパラメータを用いて評価することとしております。
0:31:34	図の 1-1 でご説明は、
0:31:36	しますと。
0:31:37	横軸が鋼材温度、縦軸が、
0:31:41	吸収エネルギー、
0:31:43	この吸収エネルギーってのが人生の指標になってまして。
0:31:47	吸収エネルギーが高い方が粘り強くなりますので、
0:31:52	粘り強くなりますんで、
0:31:55	求心力低くなると、もろくなってくるといった手法になってます。
0:32:02	えと実線の方が、
0:32:04	照射前で点線の方が照射後のイメージ図を示してまして、
0:32:10	きまして、
0:32:11	照射されると。
0:32:13	吸収エネルギーが下がってくるといったところを模式図に示しております。
0:32:19	で、低温側については、この
0:32:24	点実線から点線に、
0:32:26	シフトする関連温度移行量っていうのを算出して、
0:32:30	そのあたりを評価してます。
0:32:32	で、恒温器の方は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:34	この上部七級エネルギー上部の高温域の吸収エネルギーの減少率がどれくらいかっていうのを
0:32:42	条約に基づいて評価をしております。
0:32:51	No.9 の回答は、ご説明は以上になります。
0:32:56	続きましてちょっとナンバー11 の方にいかしていただきます。
0:33:01	No.11 の方ですけれども、
0:33:06	補足説明資料の 28 ページ。
0:33:08	お願いいたします。
0:33:19	こちら文章中、上から、
0:33:22	2 行目ですけれども最低資本同重度という記載がございましてこちらにもマスキングを外しております。
0:33:31	続いてナンバー12 についてご説明をいたします。こちらと同じく、
0:33:37	28 ページの図 1 になりますけれども、
0:33:40	ポイント所内用語の統一の観点で、
0:33:45	図中の名称を修正をしております。主蒸気系配管。
0:33:50	もともと使用菱蒸気配管だったのは主蒸気配管。
0:33:54	あと、
0:33:55	減少再循環系配管原子炉再循環ポンプと、名称を、
0:34:00	統一を図っております。
0:34:06	稲場 13 についてご説明をいたします。ページで言いますと、30 ページになります。
0:34:13	こちらは
0:34:17	基線適正化ということで、随時、
0:34:19	に修正をしております。
0:34:27	こちらからの説明は以上になります。
0:34:37	規制庁の吉崎です。説明ありがとうございます大分わかりやすくなりました。
0:34:43	ちょっと、その上で確認だけなんですけども、
0:34:47	一番のコメント回答の溶接の方法。
0:34:56	補足説明資料の、
0:34:58	最後のところ、
0:35:05	41 ページですかね。
0:35:09	ちょっと、
0:35:10	記載だけなんですけども、一番上から 2 行目に溶接施工法に従ってというのと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:19	真ん中の1ポツ能サイショのこの腰痛の方法ってのは、これは同じこと言ってるんですかね。
0:35:38	中部電力のカネオリです。
0:35:41	と。
0:35:43	溶接の方と言ってますのは注記で書かせてもらってますけども溶接施工法と、
0:35:49	溶接士のことを指しております。
0:35:53	以上です。
0:36:03	規制庁の吉崎です。比較表の、
0:36:06	9ページで、
0:36:08	そもそもこの質問したのは、109ページで円筒度3及び4の溶接部は母材と同等以上の靱性元を確認したよ。
0:36:19	施工法。
0:36:21	を用いていく。
0:36:24	オチ方法ってこれよ、溶接の方法。
0:36:28	#NAME?
0:36:30	だと思ってて、
0:36:32	その溶接の方法の注記で、溶接施工法及び溶接し、
0:36:37	になるのかなと思ったんですけど、
0:36:40	そうではない。
0:36:55	中部電力のカネオリですと比較表の9ページの方で、
0:37:02	同等以上の人生を持つことを確認させて広報って書かせてもらってますけれども、
0:37:07	ここで言う施工方法は
0:37:12	補足説明資料で言いますと溶接施工法、
0:37:16	のことを指しております。
0:37:19	以上です。
0:38:18	規制庁の吉田です。ここで溶接の方法ってのは、要件のこと言ってんですよ。要件の
0:38:26	何だ、炙りPSだけ。
0:38:28	あらかじめ登録された方法だとか、
0:38:32	登録された溶接気が、溶接の溶接しか資格を持った人がやるっていうことを、
0:38:38	言っている。
0:38:40	まずそうそういう理解でいいですかね。
0:38:45	中国電力の植田です。ご認識の通り、溶接施工法と溶接士の方をあらかじめの認可を受けてやっているといった認識で間違いございません。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:39:00	市長の井関佐野。
0:39:02	記載ぶりだけなんですけど、9 ページで言うと、その資格表の、
0:39:09	ことをかぶって溶接法っていうと何か言うその溶接施工法、
0:39:14	何だ。
0:39:15	先ほどの追加された補足の注記※の、
0:39:22	溶接の方法の中の溶接の施工方法だけにかかっているのかなと思ったんですけど。
0:39:27	これが溶接も入るんだったら、溶接の方法なのかなと思ったんですけど。
0:39:34	そうではない。
0:39:59	中国電力植田です。少々お待ちください。
0:40:26	中国電力植田です。お待たせいたしました 9 ページの方につきましては人生に関する事項を説明しておりますので、人生については溶接施工法の認可時に、
0:40:38	確認させていただいております、実際には補足説明資料のところに書いてあるように、それに加えて溶接士の方も認可を取った溶接士が溶接しているという、
0:40:50	説明を補足説明資料ではさせていただいております。以上です。
0:41:25	規制庁の井関です。そういうことであれば、コア人生について言ってるか施工方法、
0:41:34	こういう言葉を使ってるってことですかなんか言葉がたくさん出てくるので、
0:41:38	少し、
0:41:40	戸惑ってしまうんですけども、
0:41:43	起こりました。
0:41:45	ちなみに何だ、この中身。
0:41:49	何だ。
0:41:50	確認した溶接施工法というのは、
0:41:57	どういう施工方法なんか弱っていうとどんな施工方法なんですか。
0:42:12	中国電力植田です。ちょっと資料の方確認しますので少々お待ちください。
0:42:34	中国電力の植田です。お待たせいたしました円筒度 3 と 4 の溶接線につ適用している溶接法につきましては、自動右溶接の方、
0:42:45	を適用しております、温度条件とかについては、メーカーのノウハウに関わる部分なので本日は、ちょっと発言を、
0:42:53	かけさせていただきますが
0:42:56	温度条件とか指導が数が必要かどうかそういった条件の方が、施工法の認可の時に決められておましてその通りに、実際の製品を作る際に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:07	溶接を行っているという状況です。以上です。
0:43:14	成長の1セキですオオノ条件ってのは焼ん名前とか焼き戻しとかそういう話になるな、のことですか。
0:43:26	中国電力の上田です。申し訳ございません。温度条件につきましては米津通の条件になっておりまして、それに加えて先ほど言われました焼きなまし等については溶接後熱処理の条件として、
0:43:40	定義されているものになります。以上です。
0:43:47	規制庁の吉崎です。そういった4度条件が、厳密に決められてその通り意味溶接をやるってことわかりました。
0:43:56	少々お待ちください。
0:44:22	規制庁の出席率先ほど9ページのところで、施工方法って書いてるけども、
0:44:27	先ほどの説明だと溶接施工法にした方がいいんじゃないですか。
0:44:35	中国電力の植田です。ご指摘いただきました通り溶接施工法の方が適切だと思いますので、訂正させていただきます。
0:44:44	以上です。
0:44:47	規制庁藤田ですちなみに、ここ以外に何か施工方法って記載してある場所ってあるんですかね溶接施工を。
0:44:56	ご説明お願い。
0:45:03	中国電力の鏡です。少々お待ちください。
0:45:13	中国電力の開発、ここ以外には、施工方法の記載はございません。
0:45:18	以上です。
0:45:19	規制庁藤田です。了解いたしました。
0:45:22	であれば何か、
0:45:24	溶接施工法と書いた方が、見る側からしたらわかりやすいかなと思うんで、記載の適正化等ご検討いただきますよろしくお願いいいたします。
0:45:36	中国電力のカネオリです。承知いたしました。
0:46:06	あ、規制庁の吉崎です。比較表の23ページのところで、
0:46:10	先ほど
0:46:11	黄色ハッチングしてもらったところなんですけど、備考のところ、
0:46:18	これ
0:46:20	321.7。
0:46:23	20、29.3ってのは先ほどの、
0:46:26	関連温度の移行量。
0:46:28	32.7の接点はどこからか、もう一度説明してます。
0:46:39	中国電力のカネオリです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:41	32.7 度の方は、応力拡大係数から算出をさせていただきます。補足説明資料の方 で、
0:46:52	ご説明をいたします。
0:47:08	補足説明資料の、
0:47:12	10 ページ。
0:47:14	お願いいたします。
0:47:23	失礼。21 ページお願いいたします。
0:47:31	こちら 3 ポツ 3 で関連温度の要求値の算出及び評価というところがございま す。
0:47:38	真ん中の方にRTNDT＝
0:47:42	Tーっていう形が、
0:47:44	あると思うんですけども、こちらの方の形はCのところ、応力拡大係数、
0:47:50	第 2 を、
0:47:52	しまして、このRTNDTというのを算出させていただきます。そうすると 32.7 分という 規制値が算出されます。
0:48:00	以上です。
0:48:07	規制庁の井関麻生なんか数字の、その根拠というか、今のところの説明を補 足していただきたいんですけども、今、今説明したところを、
0:48:18	今のこのページに、追記をしていただきたいんですけども、よろしいですか。
0:48:30	あと中国電力のカネオリです。
0:48:33	方。
0:48:34	補足説明資料の 16 ページ。
0:48:39	の方にですね表 5-2 というのがございまして、
0:48:48	こちらでも
0:48:49	フォルダ係数、
0:48:52	の算出過程といえますか、こういう一次応力とか二次応力を使って
0:48:59	形は安定値を求めて、
0:49:02	いるんですけどもそれを表に、
0:49:04	まとめてございますけれども、この算出過程を、先ほどの、
0:49:10	20 ページの方にも少し、
0:49:13	補足して、補足してもらいたいという、
0:49:16	コメントということでよろしかったでしょうか。
0:49:20	規制庁の谷津ですはいその通りでございます。ここで言うと、表 5-2 でいう と、
0:49:26	32.7 っていうのは、あれか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:31	円筒雑煮のところ。
0:49:40	いないですか。
0:49:44	中国電力のカネオリ、ご理解の通りでして、
0:49:48	面倒通りのところではドップラ係数が円筒度 3 と 4 と一緒でございますので、
0:49:55	円筒度の 2、2 を見ていただければ、
0:50:01	32.7 度というのが、わかります。
0:50:03	以上です。
0:50:07	家KIcはどっから持ってたんでしたっけ。
0:50:20	中部電力の狩野です。少々お待ちください。
0:50:31	中国電力のカネオリです。補足説明資料の 20 ページ。
0:50:36	お願いいたします。
0:50:43	こちらの、
0:50:45	図の真ん中のほうにK湾の計算というところがございます。
0:50:49	これ文字アップにも書いてますけれども、のずれ以外とのずれで、
0:50:53	この計算式が、
0:50:55	異なっておりまして、ノズル以外の方ですと、
0:50:59	軽湾がそのSFの安全率にその形を、
0:51:04	ワンP+K。
0:51:08	岩級。
0:51:09	という計算式になってます。この形は安否ってのは一次応力、
0:51:16	シリー。
0:51:19	表を先ほどの 5-2 でいきますと、
0:51:29	一次応力というところがあると思うんですけども、こちら系湾Pが一次、
0:51:38	一次抗力で、
0:51:40	形は 9 っていうのがあると思うんですけども、こちらが、
0:51:45	1 次曲げ応力、
0:51:48	なってます。
0:51:52	失礼しました。
0:51:54	エーワンPが、
0:51:58	一次応力で計は 9 が二次応力になってます。
0:52:02	で、分解しますと、MMとか、 $\sigma_m$ ワンとかっていうパラメータが出てきますけどもこちら表 5-2 の方にすべて記載をしておりますので、
0:52:13	この時期に表 5-2 の値を代入していただければ、
0:52:17	ホール拡大係数が算出可能となっております。
0:52:21	以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:43	市長の井関です
0:52:45	この、この時期って言っているのは、
0:52:49	どの時期でしたっけ。
0:52:55	あと中国電力のカネオリですと、
0:52:57	補足説明書 22 ページの、
0:53:00	図の 1 の中に、
0:53:02	形は
0:53:04	イコールの月があると思うんですけども、
0:53:07	まだ経営ワン、ずれ以外ですね、円筒度なのでノズル以外の方なんですけども、
0:53:13	時計はイコールSAF
0:53:15	開ける。
0:53:16	JワンP+Kワン 9 という式がありまして、それをさらに意識展開しますと、
0:53:23	その次の=で、
0:53:24	政府
0:53:26	普通括弧mm掛ける。
0:53:29	$\sigma m$ ワン+っていう式が二つ目に出てきてると思います。こちらの値については、
0:53:36	先ほどの、
0:53:38	表 5-2 の方に、
0:53:42	それぞれの各パラメータの値を記載をしておりますので、
0:53:47	この兵庫ノリの値を、こちらの式に代入しますと、
0:53:52	Kワンが算出。
0:53:55	可能となっております。
0:53:56	以上です。
0:54:05	規制庁の吉崎です。わかりましたこの、
0:54:09	22 ページの
0:54:10	平和の像以外の式展開の記号。
0:54:14	と、表の 5-2 の広がってるので、それを入れます。
0:54:19	平和が出て、
0:54:21	そのケイアンの式を、
0:54:23	最初の 21 ページの式に入れます。
0:54:28	関連の履行が出ると。
0:54:30	結局、5-2 の表の一番、
0:54:35	一番右の方。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:36	結果になる通り、
0:54:44	中国電力の狩野です。ご理解の通りで一番右に、
0:54:49	RTNDTの値があると思うんですけどもその結果が、
0:54:53	先ほどの説明書の方に記載をしております。
0:54:57	以上です。
0:55:01	はい。吉水わかりました。
0:55:04	あとですね少し補足説明資料ですごくわかりやすくなったところでもう少し確認なんですけど、
0:55:13	最初のところ、1ページのこの、
0:55:16	最初の説明。
0:55:18	1ポツの説明とこのグラフで、
0:55:21	中性子脆化の模式図、先ほど上部棚エネルギーの粘り強いのが上で、下に行くともろくなるということで、
0:55:30	温度が上がるともろくなるってのはあるんですけど、
0:55:34	先ほど関連どうや、
0:55:40	他のエネルギーの減少率Ⅱが、
0:55:44	結局、
0:55:45	この判定班って、
0:55:48	どれぐらいのエネルギーが、
0:55:50	減る。
0:55:51	だから、判定基準に対して、どれがいいんだから大丈夫っていうところは、
0:55:57	表で言うと、
0:55:58	具体的にどこどこが該当する。
0:56:01	ページになりますか。
0:56:09	中国電力のカネオリです。
0:56:12	補足説明資料の、
0:56:23	少々お待ちください。
0:56:38	中国電力のカネオリです。補足説明資料の、
0:56:42	18ページをお願いいたします。
0:56:54	6ポツ上部棚吸収エネルギーによる評価。
0:56:57	あると思うんですけども、
0:57:02	まず
0:57:03	表6-1に、いうSE。
0:57:07	上部棚求心力の初期値があると思います。こちら側の、
0:57:12	照射前の値になってますんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:15	そこから上部棚吸収エネルギーの減少率を、下の3つかで示してありますけれども、そちらの方で減少率を、
0:57:24	求めます。
0:57:26	今回の場合で言いますと、真ん中の方、15.8%と記載させてもらってますけれども、こちらが減少率になってきます。
0:57:35	ですので初期値にこの15.8%、
0:57:40	を減少させたものとして、
0:57:43	照射後の値としましては、
0:57:45	いうSE調整値と書いてありますけれども、今、178ジュール。
0:57:52	というふうな対応を書いています。で、判定基準としましては、弱に書いてありますけれども、
0:57:59	この調整値178が、
0:58:02	68ジュールを上回ることである上回れば、問題ないといった判定になっております。
0:58:10	以上です。
0:58:20	規制庁の井関です。比較表で言うと、24ページのところの、
0:58:26	上部棚エネルギーの評価結果で、
0:58:30	QAが212に対して調整して178度で、
0:58:35	要求値の質量下限値が68だから、
0:58:39	これよりも大きい。
0:58:42	から、
0:58:44	先ほどの、
0:58:45	説明したところ、その根拠っていうこと。
0:58:48	弁護士。
0:58:53	中国電力の狩野です。ご理解の通りでございます。以上です。
0:59:11	市長の出席、わかりました。
0:59:13	同様にして
0:59:15	関連温度の移行量についても、
0:59:18	説明してます判定値とその測定結果の、
0:59:23	ところについて、
0:59:25	お願いします
0:59:31	と中国電力のカネオリです。
0:59:33	当説明書の方でいきますと、
0:59:36	23ページ。
0:59:39	になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:42	こちらの表の 7-3 があると思うんですけども、
0:59:49	ここで先ほど関連温度の要求値っていうのを算出をしています。
0:59:56	円筒ど 3、4 でいきますと、6.4 度っていうのが、要求値になってまして、
1:00:05	等、
1:00:06	一方で
1:00:08	実測値ってのが、
1:00:10	一番右の欄にあると思うんですけども、
1:00:13	円筒度三、四の場合は、
1:00:17	実測値がマイナス 40 度に今なってると思います。
1:00:22	越冬
1:00:24	は関連温度の要求Gが今 6.4 度、
1:00:31	なんですけれども、
1:00:33	こちらよりも温度が、実測値の温度が低ければ、
1:00:41	健全性が維持されるというか、そういう判断。
1:00:46	をしております。
1:00:48	以上です。
1:00:53	規制庁井関です。この実測値ってのは、ちょっとわかりづらいけど、
1:00:59	ここ温度を、
1:01:01	どういうときに測った。
1:01:03	ちょっと実測の、
1:01:05	意味というか、あまり
1:01:08	ピンとこないんですけども、説明してもらえますか。
1:01:15	中国電力の岡野です。
1:01:18	実測値と言ってますのは
1:01:22	実際に
1:01:24	等、
1:01:27	shall試験ですね
1:01:32	落重試験っていうのをやってまして、
1:01:36	まだボールみたいなものを落下させて、その時の、
1:01:46	結果から、その実測値っていうのを算出。
1:01:49	をしております。
1:01:54	えっと製造時にですねそういう試験をやってまして、その関連温度の、
1:02:01	と実測値っていうのを算出。
1:02:05	をしております。
1:02:08	補足説明資料の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:02:12	8 ページ。
1:02:15	の方に、
1:02:17	記載してまして。
1:02:20	4 ポツで関連温度の決定というところが、
1:02:23	あると思うんですけども、
1:02:25	この関連温度の、
1:02:31	初期値、
1:02:33	言ってますのが書記って言ってますのがこの、
1:02:36	実測値。
1:02:37	になりますんで、
1:02:39	その手順については、この 9 ページの方に、
1:02:44	図の 4-1 として
1:02:47	決定手順を忝てます。
1:02:50	こちらの告示 501 号の時にやった試験になりますので、その告示 5015 の、
1:02:58	手順をこちらの方に記載をしています。
1:03:03	こちらの方ではその落重試験とか、
1:03:07	そのシャルピー衝撃試験、
1:03:09	ていうのをやってまして、このフローに基づいて算出すると先ほどの、
1:03:14	関連温度の実測値っていうのを、
1:03:17	求めて、
1:03:19	おります。
1:03:21	以上です。
1:03:30	市長のヨシツグです
1:03:33	目イメージとしてはその試験で獲られた、た温度を
1:03:41	ストッパー 40 だから、
1:03:43	マイナス 40 までは、何か性能が、
1:03:48	確認されている、いる、そういう意味ですかね。
1:03:55	中国電力のカネオリです。ご理解の通りでして、温度が下がってくればくるほど、もろくな、
1:04:02	てくるんですけども、
1:04:04	その限界といいますか、マイナス 40 度で、落重試験しても、
1:04:10	破断されなかったとか、そういった判定をしてまして、
1:04:16	そのまま -40 度で、もう
1:04:19	要件を満たしてると。
1:04:21	君たちといいますかそういう材料の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:25	使用が、
1:04:27	必要になってると。
1:04:29	言ったものに対しまして、
1:04:32	一方でその要求値ってのがあるんですけども、
1:04:34	この円筒度 34 で言いますとその 6.4 どう。
1:04:40	あれば、
1:04:46	問題ないと言った
1:04:49	判断がここででき、
1:04:52	以上です。
1:04:55	規制庁ヨシザキよくわかりました。そういったデータをとって、
1:05:00	材料試験でやっていて、6.4 であれば、茂呂佐田とか、そういった硬さもさの影響は、
1:05:10	天羽さんの影響ですね、出てこないってことで、
1:05:13	了解しました。
1:05:15	そうしない。
1:06:56	規制庁の井関です。ちなみになんですけど、先ほどの、今のその上部棚エネルギーの判断のところと、
1:07:05	関連温度の移行量のその判断のフォロー、
1:07:08	文章ってどこに。
1:07:11	入ってますか。
1:07:14	文書での説明。
1:07:17	この記載はどこですか。
1:07:24	中国電力のカネオリです。説明書比較表の方でいきますと、
1:07:30	まず、
1:07:33	16 ページになります。16 ページの、
1:07:37	ところで、9 ポツ結論ってのが、
1:07:41	あると思うんですけども、
1:07:43	衛藤。
1:07:48	こちらの方でまず、関連温度の方ですけども、
1:07:53	関連温度の要求値を満足することを確認したという規制が一つあるのと、
1:07:59	また以降で、
1:08:02	この上部棚吸収エネルギーが規定されている要求値を満足することを確認した。
1:08:08	といった記載はございます。
1:08:11	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:20	規制庁の伊勢です。
1:08:22	記載だけなんですけど
1:08:25	上ぶたのエネルギーはN要求値 6080 以上満足する。
1:08:30	とあって、
1:08:31	関連温度の子は、具体的な数字が書いてないんですけども、
1:08:37	これは具体的な数字は書け書けないでしょうか。
1:08:45	中国電力のカネオリです。
1:08:49	規格に具体的な数値が定められているわけじゃなくて先ほどの実測値の比較で判断をしてございますので、
1:08:59	具体的な数値といいますと
1:09:04	実測値の値にはなり、なります。
1:09:09	以上です。
1:09:14	基調に移りそうすると今の管理本部の、
1:09:18	要求値、
1:09:20	と、要求値が実測値を、
1:09:24	板東する。
1:09:27	ことがあるじゃん。
1:09:28	そそういうことですか。
1:09:32	中国電力の岡野です。ご理解の通りでして、
1:09:38	要求値を示してましてそれが実測値。
1:09:45	よりも、その高いついていうところを確認。
1:09:48	したっていう意味で、満足することを確認したと。
1:09:50	言った記載にしております。
1:09:54	以上です。
1:10:01	規制庁の伊勢です何か実測値が出てこないから、何に対して満足したかというの、
1:10:08	そっちのジャックの方読み込んでから、
1:10:12	わかりにくくなってるんですけども、
1:10:15	わかりやすくできませんか。
1:10:21	中国電力のカネオリです。承知いたしました。実測値。
1:10:26	比較してるっていうことがわかるような記載については、少し検討させていただきます。
1:10:33	以上です。
1:10:36	規制庁のヨシツグですはい。よろしく申し上げます。実際はそうそれで判断してるから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:42	その後ろの表ともあるから、
1:10:45	記載を検討。
1:10:46	お願いします。
1:10:51	中国電力のカネオリです。承知いたしました。
1:11:11	市長の吉崎です。
1:11:13	補足説明資料の 11 ページで計算式を、
1:11:18	追加してもらった関連温度の、
1:11:20	算出しの過程ですね。
1:11:23	ここでその一番最後(4)のマージンってあるんですけど、
1:11:28	これはJappの、
1:11:31	4 に出る内カラフル。
1:11:33	もの。
1:11:34	でしょうか。
1:11:39	中国電力の岡野です。ご理解の通りでしてJEAG4201。
1:11:45	2013 年追補版というのが、
1:11:48	エンドースされてまして、
1:11:51	そちらの方、
1:11:53	もしお手元にあつたらご覧いただきたいんですけども、
1:11:57	2013 年追補版の附属書Bっていうのが、
1:12:01	ありまして、読書Bの中の、
1:12:05	2 ページ目。
1:12:08	③に、MRはマージンで 22 度であるという記載がございます。こちらのマージンを、
1:12:15	セキをしております。
1:12:18	以上です。
1:12:20	はい。規制庁井関です。了解しました。
1:12:24	少々実際、
1:14:14	規制庁の井関です。サーマルスリーブの図のところの確認だけなんですけども、
1:14:21	付則の最後の 33 ページ。
1:14:27	先ほどの説明ですとサーマルスリーブ等、6 期の間に入ると言っていたんですけど、
1:14:36	この絵で言うと、
1:14:38	サービスリーダーっていうのはこの中の冷水の流れ通ってるスリー-gooodだと思ったんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:46	スリーブの絵が若干
1:14:49	何だ、
1:14:52	どう、どこからどこまでが皿なのか、少し、
1:14:57	記載がわかりづらくて、
1:15:01	えっとですね。
1:15:03	下水道等っていうのは、どこを通ってるかって説明できるでしょうか。
1:15:12	中国電力のカネオリですと図1で、
1:15:17	冷水が通ってるのはこの
1:15:19	尾根ずるしで、お示し、
1:15:22	今ストーリー、このノズルの真ん中、
1:15:27	流れております。
1:15:30	サーマルスリーブって言ってますのは、この冷水と接しているこの、
1:15:36	のずれのさらに内側の
1:15:41	するスリーブといいますか、
1:15:43	を、サーマルスリーブと呼んでます。
1:15:46	そのサーマルスリーブの外に今ノズルってのがありましてさらに、
1:15:51	原子炉圧力容器があるといった構造になってます。で、
1:15:57	この
1:15:59	サーバー内のサーマルスリーブと、
1:16:02	このノズルの間の間は、少し隙間が
1:16:06	ございまして、ここは、
1:16:09	炉水ですね、炉の温度が高い、
1:16:12	温度が高い炉水がこの間の隙間に入り入り込んでる。
1:16:18	といった構造になっております。
1:16:21	以上です。
1:16:23	市長の井関津野。
1:16:25	薄井が入り込んでいるっていうのが、
1:16:29	ここで言うと何だ、
1:16:33	あんまり説明がしづらいんですけど、この冷水の流れの、
1:16:38	一番右側の矢印の少し上の方に、
1:16:42	何か、
1:16:44	隙間みたいのあるんですけど、そこまで炉水が外側の皿の外側に水が来てる。そう。そういうことでしょうかね。
1:16:58	中国電力の岡野です。ご理解の通りで、
1:17:01	三つ矢印がございまして一番右側の矢印の先端部分付近にですね

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:11	行きどまりといえますか。
1:17:13	そういった構造部分がありましてそこまで、
1:17:17	炉水がどの温度があったか、温度が高い炉水が、
1:17:22	入り込んできてると。
1:17:25	言った構造になってます。
1:17:27	以上です。
1:17:30	市長の井関です。もしそこがわかるような矢印見てもらうとわかりやすいんですけど、サーマルスリーブとその隙間が若干その矢印が、
1:17:40	どっちが示してるのかなと思って、
1:17:43	多分内側をやってるんだなと思って。
1:17:48	少し、どこまで何だ、確井が何だ。
1:17:55	きてるのかわかるように、
1:17:57	していただきたいんですけども、よろしいでしょうか。
1:18:03	中国電力の岡根です。承知いたしました。
1:18:07	頭を少し色塗りとかですね、色を使って、ここまでは炉水が入ってるとかで、この範囲が、
1:18:17	サーマルスリーブとかって言ったのがわかるように、図については少し修正、
1:18:23	したいと思います。
1:18:25	以上です。
1:18:28	規制庁の井関です。はい。
1:18:30	よろしくお願いします。
1:18:32	少々お待ちください。
1:19:04	市長の吉崎です。はい。こちらからは特に、
1:19:09	ございません。以上です。こちらから確認するものあるでしょうか。
1:19:20	中国電力の狩野です。こちらからも特にございません。
1:19:23	以上です。
1:19:27	成長のヨシザキですそれでは今日の
1:19:31	コメントの確認をしたいんですけども、
1:19:34	よろしいでしょうか。
1:19:40	中国電力の鏡です。
1:19:42	今から画面共有いたしますので少々お待ちください。
1:20:15	中国電力の岡根です。
1:20:17	今坂面協議させていただきましたけれども、ご覧いただけてるでしょうか。
1:20:23	規制庁の吉崎です。はい。見えてます。お願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:28	はい。中国電力のカネオリです。それではナンバー1 からお説明いたします。比較表の 9 ページで、
1:20:35	施工方法の記載について、
1:20:39	本設 31 ページを参考に記載を検討すること。
1:20:44	二つ目としまして比較表の、
1:20:47	16 ページになりますけれども、関連温度について、要求値、実測値が、
1:20:53	要求値と比較して満足していることが、
1:20:57	わかるように記載を検討すること。
1:21:00	難波さんですけれども、補足説明資料 33 ページで、
1:21:04	炉水とノズル、
1:21:06	とサーマルスリーブの、
1:21:08	位置関係がわかるように記載を検討すること。
1:21:12	の三つと認識をしております。
1:21:14	過不足がありましたら、
1:21:16	よろしく願いいたします。
1:21:23	規制庁の義崎ですはい。これで、
1:21:25	OKです。
1:21:33	中国電力の金光、ありがとうございました。
1:21:39	市長の井関です。それでは、
1:21:44	確認するもなければ、一旦終わりますけどもよろしいですか。
1:21:50	中国電力の兼田です。
1:21:52	こちらからはありません。以上です。
1:21:58	はい。規制庁の井関ですそれでは本日のヒアリングを終わりたいと思います。ありがとうございました。
1:22:09	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。